

—— 古都京都の文化財 ——

りょう あん

世界文化遺産

龍安寺

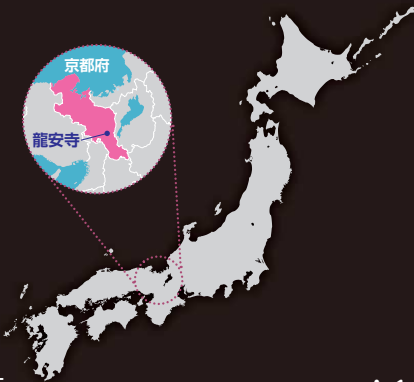


石庭まめ知識

石庭に配置された15個の石は、庭のどの位置から眺めても、全ての石が一度に見えないように配置されています。作った人がなぜそうしたのかは色々な説があり、はっきりしていません。子どもたちと一緒に考えてみましょう。

1994(平成6)年、二千年の古都京都の文化財として、17か所の寺社や城が、日本では5番目の世界遺産に登録されました。歴史上の重要な段階を物語る建築物や景観などを代表する、顕著な見本である点などが高く評価されました。龍安寺(臨済宗妙心寺派、山号大雲山)はその一つです。室町幕府の管領職にあった細川勝元が創建しました。枯山水の方丈庭園が「龍安寺の石庭」として有名で、白砂を水の流れに、石を島に見立てていると言われています。





ちよっと、
知っとクイズ

Q1. 石庭の別称は「〇〇の子渡しの庭」。さて、〇には何が入る？

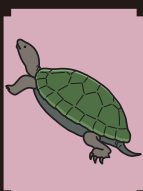
① 龍



② 虎



③ 亀



Q2. 1975(昭和50)年、日本を訪問した際に石庭を絶賛したのは誰？



答え A.1 ②虎：中国の説話にある“虎が子を連れて川を渡る姿”に見立てたという説から称されています。
A.2 イギリスのエリザベス女王：この出来事をきっかけに、日本の「ZEN(禅)」のブームが世界中に広まりました。